

これまで、神島の八代神社に残る宝物について紹介していますが、その中の紡績具が、東京国立博物館で開催された第62回伊勢神宮式年遷宮を記念して開かれた特別展「伊勢神宮と神々の美術」に出品されました。

この展示は、20年に一度行なわれる伊勢神宮の遷宮の歴史と、その都度造り替えて奉納される神宝を紹介する内容となっています。

特に注目は、神宮で出土し

鳥羽のお宝 再発見!



vol.15

教育委員会生涯学習課
☎ 1268

神島八代神社神宝の謎

番外編
八代神社の神宝の一部が
東京国立博物館に出品さ
れました!

た金銅装の飾り太刀や福岡県の沖ノ島で出土した金銅製の機織具のミニチュアなどの貴重なものと並んで八代神社の金銅製の紡績具が2点展示されていることで、伊勢神宮の神宝の紡績具も展示されてお

り、八代神社のものと、伊勢神宮のものが同時に見学できる貴重な機会となっています。また、朝熊山の経塚から出土した国宝の遺物も展示されています。

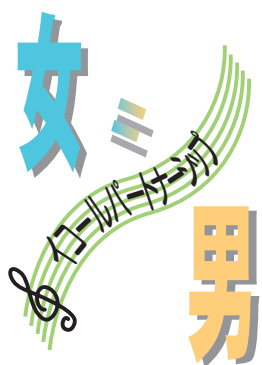
このように、神島の八代神社の神宝は、国立の博物館で展示されるほどの貴重な遺物であるということがわかります。

この特別展は、東京では9月7日に終了しましたが、9月19日から11月9日まで大阪歴史博物館で開催されています。伊勢神宮の1300年に渡る歴史が体感できますので、この機会にぜひご覧ください。

伊勢神宮と神々の美術

第六十二回式年遷宮記念 特別展
2009年9月19日(土) - 11月9日(日)
大阪歴史博物館(大阪府大阪市)
http://www.osaka-history.jp/exhibition/isejingu.html

【常設展】特集展示「大坂の伊勢信仰とおかひざまい」
期間：9月21日(土) - 11月11日(日) 9時30分 - 17時00分



キャリアの持つ力

vol.98

市民課人権・生活係
☎ 1126

6月1日号で紹介した「まちづくり達人塾」の中で、参加いただいているメンバーと「キャリア」について話し合う機会がありました。

キャリアと聞くと、資格や

職業と関連した経験や経歴を思い浮かべる人が多いと思います。またその言葉には、どこか肩ひじを張って生きていく姿を連想し、その言葉に拒絶反応を示してしまう人もいるかもしれません。

しかし、キャリアとは職業に限らず、地域活動・家族・友達などさまざまな要因が絡み合う中で、それらとどのように向き合い、かかわっていくのかを幅広く指す言葉でもあります。男女共同参画社会を実現するためにも、女性のキャリアを支援していくことが今、推進されています。

そのためには、自分が作り上げてきたこれまでのキャリアを見つめ直す必要がありますが、いざそれを考えようとすると少し難しく感じてしまうかもしれません。

そこで自分の節目、すなわち考え方を変えるような体験・転機・ターニングポイントになった経験を一度振り返ってみてはいかがでしょうか。

そこからさまざまな経験を自分なりに整理・理解・納得しながら自己認識を深めていくことができれば、自身が成長でき、自分の能力を最大限に活用・発揮できるような「自分らしい生き方」を見つければ、糸口になるかもしれません。

